資料 2

豊田 PCB 処理事業における豊田市の対応について

1　豊田 PCB 処理施設への立入検査の実施状況について

前回の安全監視委員会後（令和２年９月 15 日から令和３年３月２日まで）、市は中間貯蔵・環境安全事業株式会社（以下「JESCO」という。）豊田 PCB 処理事業所へ計１２回の立入検査を行いました。

概要は表１のとおりです。

表１　JESCO への立入検査の概要

	立入日	検　査　概　要
①	令和２年 ９月 16 日	【施設運転状況の確認】 ・稼働状況に異常は見受けられなかった。
②	10 月 5 日	【エレベーター火災発生状況の確認】 ・火災発生の報告を受け、状況を確認した。 ・火災現場のエレベーターは PCB の非管理区域であり、また、オンラインモニタリングの結果にも異常はなく、外部への PCB の漏洩はなかった。
③	10 月 6 日	【環境省の立入に同行】 ・環境省による火災状況確認のための立入に同行した。
④	10 月 14 日	【※夏季大気環境調査結果への対応】 ・当市が実施した夏季大気環境調査で異常データとなったことから、状況を確認した。 ・試料採取日前後の JESCO のオンラインモニタリング結果、排気測定結果及び環境調査結果等に異常は確認されなかった。 【エレベーター火災の状況確認】 ・１０月５日発生のエレベーター火災による破損部品の交換等が実施され、エレベーターが通常通り稼働していた。
⑤	10 月 15 日	【行政検査】 ・行政検査（排出ガス測定及び処理後物の抜取り検査）を実施した。結果、排出管理目標値（排出ガス）及び卒業判定基準（処理後物）が遵守されていることを確認した。

⑥	11 月 9 日	【定期点検前の災害防止協議会の確認】 ・定期点検の工事施工業者等が出席する災害防止協議会を確認した。
⑦	11 月 18 日	【漏洩報告の確認】 ・オイル回収塔溶剤ポンプからの溶剤漏洩報告を受け、状況を確認した。 ・漏洩した溶剤には微量の PCB が含まれていたものの、PCB の外部への漏洩はないことを確認した。
⑧	11 月 26 日	【環境省の立入に同行】 ・環境省による溶剤漏洩状況確認のための立入に同行した。
⑨	12 月 15 日	【施設運転状況の確認】 ・定期点検の実施状況を確認した。 ・異常は確認されなかった。
⑩	令和 3 年 1 月 13 日	【施設運転状況の確認】 ・定期点検後の立上げ作業は順調であり、稼働状況に異常は見受けられなかった。
⑪	2 月 22 日	【行政検査】 ・行政検査（排出ガス測定）を実施した。（分析中）
⑫	3月1日	【PCB 廃棄物の焼却実証実験に伴う搬出確認】 ・PCB 廃棄物の焼却実証試験に使用するための試料提供に伴う積込作業現場を確認した。 ・漏洩防止対策等が適切に実施されていた。

※過去の調査結果から、異常データと判断し状況を調査しましたが、健康への影響が考えられるレベルの数値ではありません。

2　所内設備保全の徹底を求める文書の交付について

令和２年、電気系統のトラブルにより、一時的とはいえ処理が停止する事態が発生しました。

原因は突発的な機械故障によるものでしたが、これまで発生していないことを考えると、当初予定から処理期間を 10 年間延長したことによる施設の老朽化も故障要因の一つでないかと考えられました。

このことから、JESCO に対し、令和２年 10 月 30 日付けで文書を交付し、場内設備の保全の再徹底と、不具合が発生した際のリスクに応じた対策を検討し実行するよう求めました。

3　令和２年度 PCB 環境モニタリング調査について

（１）調査地点及び時期

PCB 処理施設の稼動に伴う環境への影響を把握するため、平成 14 年度から大気、河川水質、河川底質について、平成 16 年度からはそれらに土壌を追加して PCB 環境調査を実施しています。調査地点は、表２及び図１のとおりです。

表２　PCB 環境モニタリング調査地点及び時期

調査媒体	調査地点名	所在地	回数	調査時期
大 気	①山之手小学校	山之手６丁目	２回／年	夏・冬
	②南部局	竹元町南細畔		
	③小原支所	小原町上平		
水 質	④逢妻男川（PCB 処理施設 直下流）	元町地内	２回／年	夏・冬
	⑤逢妻男川（雲目橋）	駒場町雲目		
底 質	④逢妻男川（PCB 処理施設 直下流）	元町地内	１回／年	冬
	⑤逢妻男川（雲目橋）	駒場町雲目		
土 壌	①山之手小学校	山之手６丁目	１回／年	夏

図１　調査地点

（２）調査結果について

令和２年度夏季調査（大気、河川水質、土壌、河川底質）及び冬季調査（大気、河川水質、河川底質）を実施しました。

冬季調査の一部で分析中の項目もありますが、いずれの結果も平成 14 年から環境省が実施している全国調査結果の範囲内であり、施設稼働に伴う異常は認められませんでした。

調査結果は表３、経年変化については、図２から図５のとおりです。

今後も継続して、PCB 処理施設の稼動に伴う環境への影響を把握してまいります。

表３　環境モニタリング調査結果

媒体	調査地点	項　目	H14～H17 夏季（操業開始前）	H17 冬季～R1 冬季（操業開始後）	R2 夏季	R2 冬季	H14～R1 環境省 全国調査
大気	①山之手小学校	総 PCB(pg/m^3)	94～300	39～590	810	分析中	16～3,300
		Co-PCBs(pg-TEQ/m^3)	0.0033～0.0051	0.000086～0.0055	0.0022	分析中	
	②南部局	総 PCB(pg/m^3)	110～570	43～600	790	分析中	16～3,300
		Co-PCBs (pg-TEQ/m^3)	0.0034～0.0090	0.000074～0.0070	0.0017	分析中	
	③小原支所	総 PCB(pg/m^3)		24～540	550	分析中	16～3,300
		Co-PCBs (pg-TEQ/m^3)		0.000063～0.0057	0.0022	分析中	
河川水質	④逢妻男川（処理施設 直近）	総 PCB(pg/L)	1,300～1,500	120～1,800	580	1,900	nd～11,000
		Co-PCBs (pg-TEQ/ℓ)	0.035～0.20	0.0014～0.10	0.011	0.0070	
	⑤逢妻男川（雲目橋）	総 PCB(pg/L)	320～2,200	120～8,600	220	2,600	nd～11,000
		Co-PCBs (pg-TEQ/ℓ)	0.033～0.19	0.00085～0.096	0.012	0.019	
河川底質	④逢妻男川（処理施設 直近）	総 PCB(pg/g)	17,000	420～6,700		1,400	nd～5,600,000
		Co-PCBs (pg-TEQ/g)	1.0	0.0064～0.15		0.059	
	⑤逢妻男川（雲目橋）	総 PCB(pg/g)	400	120～2,600		510	nd～5,600,000
		Co-PCBs (pg-TEQ/g)	0.022	0.0054～0.089		0.021	
土壌	①山之手小学校	総 PCB(pg/g)	220～360	20～1,200	56		
		Co-PCBs (pg-TEQ/g)	0.070～0.12	0.000057～0.18	0.00015		

図２　PCB 環境調査の経年変化（大気）

図３　PCB 環境調査の経年変化（河川水質）

図４　PCB 環境調査の経年変化（河川底質）

図５　PCB 環境調査の経年変化（土壌）

４　東海４県エリア関係県市への意見・要望について

東海４県エリア内の全ての高濃度 PCB 廃棄物を期限内に確実に処理完了させるため、前回の安全監視委員会における意見等を踏まえ、令和２年 12 月 16 日に開催された令和２年度第１回ＰＣＢ廃棄物処理に係る東海地区広域協議会において、東海４県エリアの関係県市に対し、以下の内容について書面で意見・要望を行いました。

○　豊田市 PCB 処理安全監視委員会　松田委員長からの意見

- 北九州事業エリアのように計画的処理完了期限後になって高濃度 PCB 廃棄物が発見されることがないよう、発見事例を分析し、広域協議会として確実に対応して欲しい。
- 今年度で掘り起こし調査は終了となる自治体が多いが、最終通知の送付先の内訳、今後のフォローアップの見込みの数が知りたい。

○　豊田市からの要望

- 最終通知後でも事業者に確実に各自治体が連絡をとっていただき、掘り起こし調査に対する未回答事業者をなくすこと
- 関係事業者への再通知（総ざらい）を実施していただくこと

今後も、約束である令和８年３月までに確実に施設が解体撤去されるよう、当エリア内の高濃度 PCB 廃棄物全てが確実に掘り起こされ、早期に JESCO へ搬入されるよう強く求めていきます。

なお、JESCO 豊田事業における処分期間等は、以下のとおりです。

処分期間：令和４年３月３１日まで （保管事業者が原則、JESCO と処分委託契約を締結する期限）
計画的処理完了期限：令和５年３月３１日まで （命令や代執行等を講じるなどして JESCO と処分委託契約を締結する期限）